

◆ 賛助会員

アロカ株式会社  
株式会社イング  
セイコー・イージーアンドジー株式会社  
株式会社千代田テクノル  
東洋産業株式会社

長瀬ランダウア株式会社  
富士写真フイルム株式会社  
富士電エンジ株式会社  
ベックマン・コールター株式会社  
北斗科学産業株式会社

(五十音順)

編集後記

本研究会の会員は医・薬・理・工学の多分野の研究者と安全管理担当者から構成され、それぞれの会員のニーズは様々であるため、会誌の編集は容易ではありません。編集委員会では、とにかく創刊号を発刊し、内容・形式等は固定せずに試行錯誤の後によりよいものを目指すことになりました。「特別講演」の講演録は、講演のテープ起こしをもとに編集委員がまとめ、講演の先生方に短期間で加筆・修正してもらったものです。「研究最前線」は、執筆者の専門分野における最新の研究動向について、専門外の人にもわかるように紹介してもらうようお願いしたものです。

なお、表紙は北陸地域とアイソトープをイメージする図案となっています。北陸3県の地図と県花で北陸地域を、そして原子核構造の模式図でアイソトープを表現しています。また、表紙中央の球は原子核だけでなく、地球を意味し、「北陸地域から世界に発信する」という願望が込められています。

9月30日に東海村ウラン加工施設臨界事故という、日本の歴史上最悪の原子力事故が発生してしまいました。絶対安全という事象はこの世の中に存在しないといわれております。特に、目に見えず、色も臭いもない放射能・放射線は、より慎重に取り扱うべきであります。従って、この事故を契機に安全管理について、すなわち放射線防護設備・機器のハード面はもちろんのこと、安全管理体制、教育訓練、緊急時連絡網(危機管理体制)などのソフト面について再点検を行う必要があります。本研究会でも放射能・放射線をいかに安全かつ有効に利用していくかについて、真剣に検討する必要があると考えられます。

(H・M)

北陸地域アイソトープ研究会誌

The Hokuriku Journal of Radioisotope Research

創刊号 1999年12月1日発行

編集・発行 北陸地域アイソトープ研究会

〒920-8640 金沢市宝町13番1号

金沢大学アイソトープ総合センター内

電話 076(265)2471

FAX 076(234)4245

※ 北陸地域アイソトープ研究会誌は、全編集ページをApple Macintoshと各種DTPソフトを使用して作成し、イメージセッターで出力して刊行しています。

印刷 田中昭文堂印刷株式会社

〒920-0811 金沢市小坂町中75番地